

2017年10月6日

各位

「がんと就労」問題に取り組む民間プロジェクト「がんアライ部」

がんを治療しながら働く「がんと就労」問題に取り組む 民間プロジェクト「がんアライ部」発足

働き方改革として、がん罹患者がいきいきと働くことができる職場や社会を目指します

がんを治療しながら働く「がんと就労」問題に取り組む民間プロジェクト「がんアライ部」(代表発起人: 岩瀬大輔、功能聡子、URL: <https://www.gan-ally-bu.com/>)が発足したことをお知らせします。「がんアライ部」は、「がんと就労」を社会的な課題と認識する7人の発起人が設立し、がんを治療しながら働くがん罹患者が、いきいきと働くことができる職場や社会の実現を目指します。

近年、医療技術の進歩により、がんの5年相対生存率が向上し¹、がんを治療しながら働くがん罹患者が増加しています²。その一方で、職場におけるがん罹患者に対する理解がまだまだ進んでいないことから、「勤務先でのサポートがない」「制度があっても、利用できない雰囲気がある」などががんを治療しながら働くことに対する様々な課題があります³。この「がんと就労」問題は、社会的な課題として、政府が推進する働き方改革のテーマのひとつになっています。

このような現状を打破し、がんを治療しながら働くがん罹患者がいきいきと働くことができる職場や社会を実現するため、7人の発起人を中心に、民間プロジェクトとして「がんアライ部」が発足しました。「がんアライ部」は、「がんと就労」問題を解決するための勉強会やがんを治療しながら働くことを理解するためのイベントなどを開催することにより、がんを治療しながら働くがん罹患者がいきいきと働きやすい環境づくりをサポートします。

■がんアライ部の由来: 「がんアライ部」の名称には3つの意味が込められています。

アライ(ally)	がん罹患者の味方。罹患者が抱える悩みを理解し、職場復帰をサポートする方法を学び、実践することができる人たちを増やします。
アライブ(alive)	がんは「死にいたる病」ではなく、「いきいきと働きながら治療を行う病気」に変化していることを周知します。
アライ部(あらいぶ)	今回のプロジェクトの名称。プロジェクトを部活動の体裁にし、ウェブサイト・SNS上での情報発信、コミュニティの立ち上げを行います。

■発起人

功能聡子 (代表発起人) ARUN 合同会社代表

岩瀬大輔 (代表発起人) ライフネット生命保険株式会社代表取締役社長

駒崎弘樹 認定 NPO 法人フローレンス代表

桜井なおみ キャンサー・ソリューションズ株式会社代表

鈴木美穂 NPO 法人マギーズ東京共同代表、社会起業家

武田雅子 株式会社クレディセゾン取締役営業推進事業部長 戦略人事部キャリア開発室長

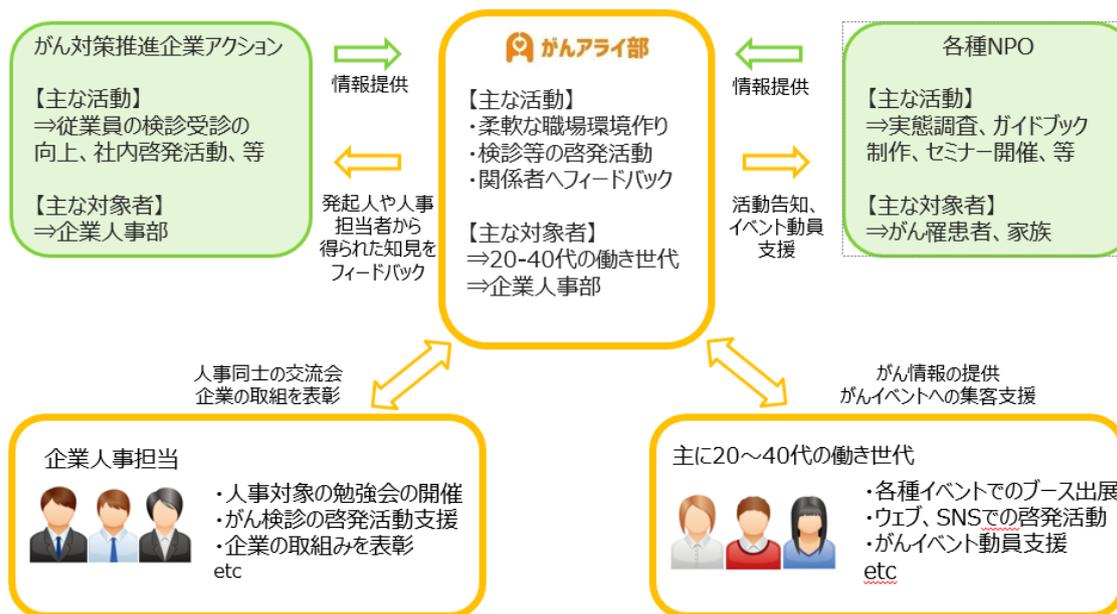
西口洋平 一般社団法人キャンサーペアレンツ代表、エン・ジャパン株式会社人財戦略室所属

¹ 国立がん研究センター「地域がん登録全国推計によるがん罹患データ」

² 国立がん研究センター「地域がん登録によるがん生存率データ」

³ 2017年ライフネット生命調べ <http://www.lifenet-seimei.co.jp/newsrelease/2017/6788.html>

■がんアライ部活動スキーム



■がんアライ部ロゴ



「がん罹患者がいきいきと働ける職場環境を、たくさんの輪を広げながら作り上げていこう」という団体の趣旨・想いをハートを囲む手のひらの形に込めました。ハートは、「思いやり」「命」を、それを囲む手のひらは「つながり」「理解」などの意味を表します。なお、本ロゴはがん罹患者のクリエイターに制作いただきました。

■年間活動スケジュール(案)

2017/10	発足記者会見、第1回勉強会
2017/11	がん罹患者向けメイクアップとSNS用フォト撮影へ出展予定
2018/1	勉強会
2018/4	勉強会、「がんと就労」に関する表彰制度検討開始
2018/7	勉強会、表彰制度への企業・団体エントリー開始
2018/10	勉強会 エントリー企業・団体の表彰

このほか、以下の活動も予定しています。

- 一般サポーター募集(ステッカー配布、イベントへのボランティア参加の促進)
- サイトやSNSを通じての情報発信(国やNPOの活動紹介、オピニオンリーダーインタビュー)
- がん関連イベントへのブース出展

■がんアライ部に興味がある方・参加したい方

がんアライ部 Facebook をフォローすると、がんアライ部の部員として各種セミナーやインタビュー記事など、「アライ」として必要な情報を受け取ることができます。

(入会手続きや会費等は特に必要ありません) ウェブサイトでも順次情報提供予定です。



【代表発起人プロフィール】

	<p>ARUN 合同会社代表 功能聡子 国際基督教大学(ICU)卒業後、民間企業等勤務の後、1995 年より NGO(シェア＝国際保健協力市民の会)、JICA、世界銀行の業務を通して、カンボジアの復興・開発支援に携わる。カンボジア人の社会起業家との出会いからソーシャル・ファイナンスに目を開かれ、その必要性と可能性を確信し 2009 年 ARUN を設立。がんと就労に関する活動を家族として支えた経験がある。</p>
	<p>ライフネット生命保険株式会社代表取締役社長 岩瀬大輔 1976 年生まれ。東京大学法学部を卒業後、ボストン・コンサルティング・グループ、リップルウッド・ジャパン(現 RHJ インターナショナル)を経て、ハーバード大学経営大学院に留学。2006 年、副社長としてライフネット生命保険を立ち上げる。2013 年 6 月より現職。著書「ネットで生保を売ろう!」「がん保険のカラクリ」等。</p>

【発起人プロフィール(50 音順)】

	<p>認定 NPO 法人フローレンス代表 駒崎弘樹 1979 年生まれ。慶應義塾大学総合政策学部卒業後、「地域の力によって病児保育問題を解決し、子育てと仕事を両立できる社会をつくりたい」と考え、2004 年に NPO 法人フローレンスを設立。日本初の「共済型・訪問型」の病児保育サービスを首都圏で開始、共働きやひとり親の子育て家庭をサポートする。厚生労働省「イクメンプロジェクト」推進委員会座長、内閣府「子ども・子育て会議」委員を務める。</p>
---	---

	<p>キャンサー・ソリューションズ株式会社代表 桜井なおみ 1967年生まれ。乳がん体験者。元設計事務所チーフデザイナー。37歳のときに乳がんが見つかり、治療のため約8ヵ月間休職。職場復帰後、治療と仕事の両立が困難となり、2年後に転職。その後、自らの体験からがんでも働きやすい社会の実現をめざしキャンサー・ソリューションズにてがん経験を活かした雇用機会の創出や相談事業に取り組んでいる。</p>
	<p>NPO 法人マギーズ東京共同代表 理事 鈴木美穂 1983年東京生まれ。テレビ局に入社して3年目の2008年5月に乳がんが見つかり、8カ月の闘病生活の後に社会復帰。テレビ局記者の仕事の続けながら、がん患者やその家族などが相談できる場づくりを続けている。テレビ局記者を続けながら、NPO 法人maggie's tokyo 共同代表、STAND UP!! 発起人を務め、現在も様々なチャレンジを抱えた人たちが活躍できるプラットフォームづくりに力を入れている。</p>
	<p>株式会社クレディセゾン取締役営業推進事業部長 戦略人事部キャリア開発室長 武田雅子 1989年入社。セゾンカウンターに配属後、全国5拠点にてショップマスターを経験の後、営業推進部トレーニング課長、戦略人事部長などを経て2016年より現職。全員が活躍する組織を目指し、全国の支社を牽引しながら、自身の乳がんの経験を活かしてがん罹患した社員のケアや復職支援をサポートしている。</p>
	<p>一般社団法人キャンサーペアレンツ代表、エン・ジャパン株式会社 人財戦略室所属 西口洋平 1979年生まれ、大阪府出身。妻、娘(9歳)の3人家族。2015年2月、35歳の時にステージ4の胆管がんの告知を受ける。周囲に同世代のがん経験者がいない状況のなか、インターネット上でのピア(仲間)サポートサービス「キャンサーペアレンツ〜こどもをもつがん患者でつながろう〜」を立ち上げる。現在も、抗がん剤による治療を続けながら、仕事と並行して活動中。</p>

がんアライ部について URL: <https://www.gan-ally-bu.com/>

「がんアライ部」は、「がんと就労」問題に取り組むプロジェクトで、「がんと就労」に関するリテラシー向上を目的とした活動等を行い、がんを治療しながら働くことが自然に受け入れられる社会の実現を目指します。

本件に関するお問い合わせ先
 03-5216-7900 (ライフネット生命内 がんアライ部広報事務局)
gan-ally-bu@lifenet-seimei.co.jp